

【三月の言葉（令和四年）】

お互いが「我」を張って、「他」とぶつかり合って
「ガタガタ（我他我他）」する。

死後の世界を想像する場合に、容姿・性格・生活習慣など、何も変わらないこのままの自分を前提として、現在の生の延長線上に考えている人が多いようです。つまり「この世」から「あの世」へと世界は変わっても、自分自身は変わらずに持ち越されると。しかし、そうではありません。「浄土」は、私自身が決定的につくり変えられる世界です。すべての煩惱が滅（めつ）するのです。波風の立たない凧（なぎ）のような静まり返った世界であることから「涅槃（ねはん）」や「寂靜（じやくじよう）」とも表現されます。それに対して私たちのこの世界は、絶え間なく波風が立っています。なぜなら、お互いが「我」を張って、「他」とぶつかり合って生きていくからです。それで「ガタガタ（我他我他）」するのです。「我」への執着こそが人間の苦悩の原因で、さまざまな煩惱を引き起こし、心と身体を悩ませ苦しめています。浄土への誕生は、波風の立つ世界からの卒業です。「我」から解放されて「わたし」「あなた」という自他（へだ）を隔（かき）ねている垣根（かきね）がなくなった完全なるバリアフリーの世界を『浄土』といひ、私たちはその浄土に往生していくのです。